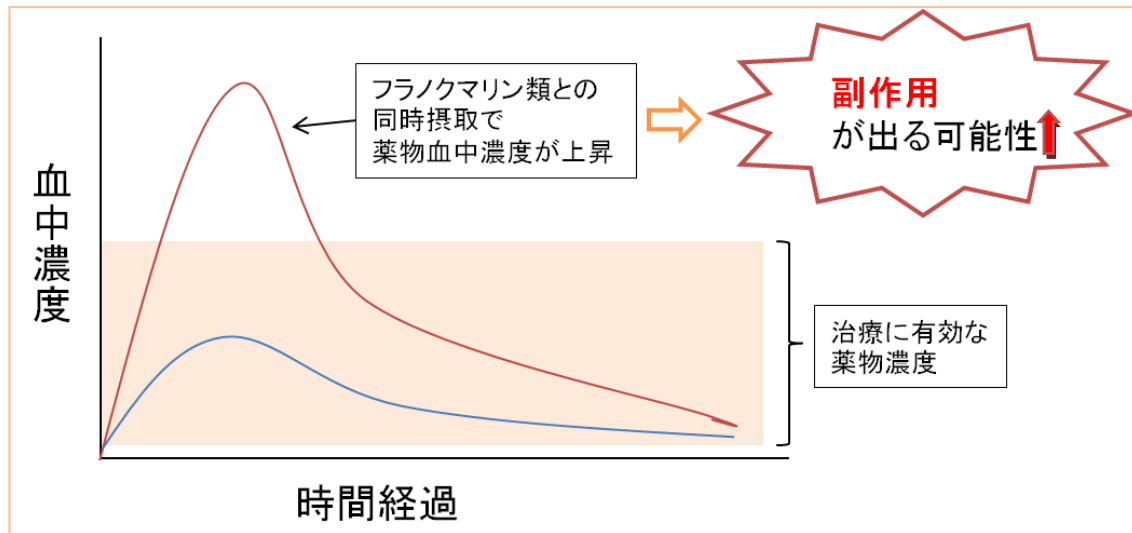


グレープフルーツおよび他の柑橘類との薬物相互作用

●相互作用を起こす成分（フラノクマリン類）について

シヒドロピリジン系のカルシウム拮抗薬、タクロリムス、カルバマゼピン、シクロスポリンなどはグレープフルーツジュースとの同時服用で、血中濃度が上昇することがよく知られている。

これは柑橘類に含まれるフラノクマリンがチトクロム P450 の CYP3A4 と排出輸送担体である P-糖たんぱく質を阻害するためとされている。



Point !

- ① コップ 1 杯のジュースでも CYP3A4 の阻害は起こる。
- ② グレープフルーツを摂取したら 3 -4 日は CYP3A4 の不可逆阻害は続く。

注意!! 薬と同時にグレープフルーツジュースを飲まなければいいというわけではない。



●グレープフルーツ以外の柑橘類と薬について

グレープフルーツ以外にもフラノクマリン類が含まれている柑橘類があり、薬物と相互作用が報告されているので、注意が必要である。



<柑橘類と薬物相互作用> 相互作用あり：赤字、相互作用なし：青字、不明(報告なし)：黒字

区	品種
ライム区	ライム・ベルガモット
シトロン区	レモン
ザボン区※	ブンタン・グレープフルーツ・絹皮・スウィーティー・ハッサク・晩白柚
ダイダイ区※	夏ミカン・ダイダイ・サワーオレンジ・日向夏・伊予柑・トロピタオレンジ・バレンシアオレンジ
ユズ区	ユズ・スタチ・カボス
ミカン区	温州ミカン・ポンカン・地中海マンダリン・シークァーサー
雑種	清見（温州ミカン×トロピタオレンジ）・デコポン（清見×ポンカン）

※ザボン区・ダイダイ区は要注意！

参考文献：“薬と食の相互作用”（2006），澤田康文，（医薬ジャーナル社），健康食品の安全性・有効性情報ホームページ，

八王子薬剤センターホームページ，SDIC Q&A 版 No.4 スズケン医薬情報室 2002.07.08